

地域における人材育成の拠点を目指して

ポリテクセンター岩手
(岩手職業能力開発促進センター)

渡辺 隆昭

1. はじめに

花巻市の近代工業は、昭和20年、東京蒲田から工場疎開をしてきた通信機器メーカー「新興製作所」の立地とその協力・下請け部品加工企業の操業により興り、その後企業誘致により、電気機械器具製造業を中心とする工業が形成されてきた。「新興製作所」初代社長の「谷村貞治」氏はモールス時代に別れを告げる新式遠隔操作でテープに印字する画期的な印刷電信機を発明した。その後昭和27年には世界最初の「和欧文併用の頁式印刷電信機」を完成され、国内外に多大な影響を与え続けた。当センターにはほど近い花巻市技術振興会館に「和欧文併用頁式印刷電信機」が展示されている。

当センターでは、産業構造、高度化等経済社会の変化に柔軟に対応できる人材の育成を図るため、地域の能力開発の中心となるべく職員一同努力しているところである。

2. 沿革

- ・昭和35年4月
労働福祉事業団「岩手総合職業訓練所」開所
基礎訓練課程（訓練期間：1年間）開始
電気機器修理科，機械科，木工科，板金科，自動車整備科
- ・昭和36年7月
雇用促進事業団に移管
- ・昭和44年10月
「岩手総合高等職業訓練校」と改称
- ・昭和57年4月
「岩手技能開発センター」併設
技能連携開始 県立黒沢尻工業高校と連携
- ・平成5年4月
「岩手職業能力開発促進センター」
(愛称：ポリテクセンター岩手)と改称
普通職業訓練短期課程実施（6ヵ月）
全科が6ヵ月訓練となり年4回募集
- ・平成10年10月
緊急雇用開発プログラムにより2部制訓練開始
- ・平成11年10月
雇用・能力開発機構へ移管
- ・平成14年3月
緊急アビリティ訓練開始
シーケンス制御科（新設）



3. 施設の概要

施設は、本館管理棟、ビル管理実習・電気実習棟、住宅サービス実習棟、機械実習棟、金属加工実習棟、体育館が整備されている。本館管理棟は、鉄筋コンクリート2階建て、延べ面積1,680㎡です。2階は、ビジネスワーク科実習室、多目的ホール、研修室1、2、CAD室等となっている。実習棟のうちビル管理実習・電気実習棟は一部2階建てで、1階は、ビル管理実習場、4教室、訓練生ホール等があり、2階は、電気実習場、PC室等となっており、全実習場延べ面積は2,960㎡である。

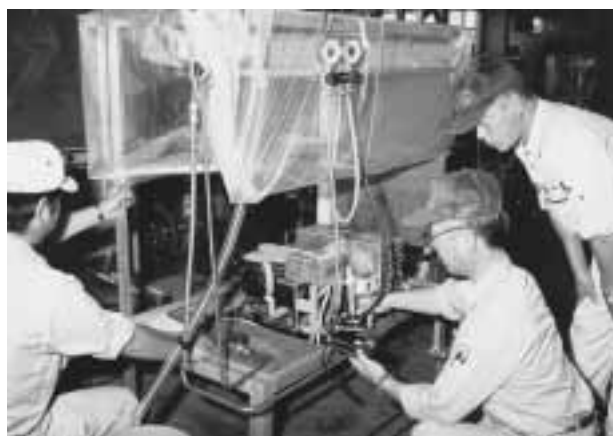
4. 設置訓練科の概要

実施している訓練は、短期課程の普通職業訓練(求職者対象：アビリティコース)、能力開発セミナー(在職者対象)、事業内援助等である。アビリティコースについては、昭和61年にB型訓練が開始されると、当センターでは「ブロック訓練方式」により年4回の入所を開始した。その後平成5年4月からは、受講機会の拡大および早期再就職の促進を図る観点から「システム・ユニット訓練方式」により年4回入所で全国実施している。

本誌では、アビリティコースの紹介をする。

・テクニカルオペレーション科(6ヵ月)

目標：機械製図をよく理解し、CADシステムによる製図、NC機械のプログラミングおよび操作



空冷式エアコン製作実習

ができる。

・金属加工科(6ヵ月)

目標：機械板金作業、炭酸ガスアーク溶接、鉄鋼材の加工および被覆アーク溶接作業ができる。

・電気設備科(6ヵ月)

目標：電気設備工事施工、保守管理、屋内配線設計およびシーケンス制御を含む設備(配電盤等)施工、保守、点検ができる。

・住宅サービス科(6ヵ月)

目標：大作業の基本と関連する施工作業、住宅仕上げ作業の基本および木工仕上げ作業ができる。

・ビル管理科(6ヵ月)

目標：給排水衛生設備、設備配管のメンテナンス、ビルクリーニング作業および空調設備メンテナンスができる。

・ビジネスワーク科(6ヵ月)

目標：業種別取引の記帳から決算までの実務、税務申告・資金管理・財務分析の実務、総務・労務、社会保険の手続き、給与計算の実務ができる。

・シーケンス制御科(H14.3開始、3ヵ月)

目標：IT技術の習得、制御技術、保全技術、機械製図およびCADシステム技術を習得する。

5. おわりに

当センター40年の歴史のなかで、その時代・社会のニーズによって施設名、訓練科名の変更を幾度も経験してきた。事業主団体方式による事業展開を始めたころは40団体を選定して生涯職業能力開発体系図を基本として、各団体・事業主に段階的、体系的な人材育成の必要性と能力開発セミナーのPRに全職員で取り組んだ。昨年末の県の有効求人倍率は0.37倍、全国ワースト4、花巻市においては0.25倍である。倒産、リストラ等により急激な失業者の増加が続いている。今年の1月生は定員の40%増の受入れをした。今、地域の当施設に対する要望は、失業者に対する能力開発である。それに応えるため全職員頑張っている。関係各位の一層のご支援・ご協力をお願い申し上げます。